

# 2号機原子炉キャビティ差圧調整ライン バルブチェック リストの現場調査について

---

2023年8月10日

東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

- 第21回事故分析検討会（2021/7/8）にて当社より2号機原子炉キャビティ差圧ライン※1の調査結果を以下の通り、報告。
  - 当該ラインに設置されている弁は空気作動弁であることから、電源喪失時に自動で閉するものであるが、現場確認の結果、強制的に手動で開状態となっていた。
  - 運用上の理由から手動で開操作されていたものと推定しているものの、原因は特定できていない。
  
- 当該弁の開閉状態については事故当時の汚染経路のより詳細な汚染経路推定に資する情報であるため、事故当時の弁状態の確認が可能な「起動前バルブチェックリスト」※2等により継続して調査を実施することとした。
  
- 今回、事前調査等により確認する準備が整ったため、当該リストが保管されている1・2号機中操コミュニケーションルーム等において、震災前及び震災直後の当該弁の状態を確認する。

※1 運転中に原子炉キャビティ（原子炉ウェル）とオペレーションフロアの差圧を調整するラインで、原子炉建屋換気空調系の排気ダクトに接続されている。

※2 原子炉起動前に各弁が適切な開閉状態となっているか確認するリスト。

# 現場予備調査実績と今後の計画について

---

## <現場予備調査実績>

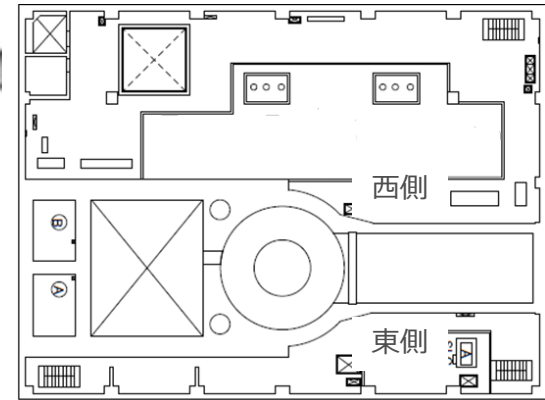
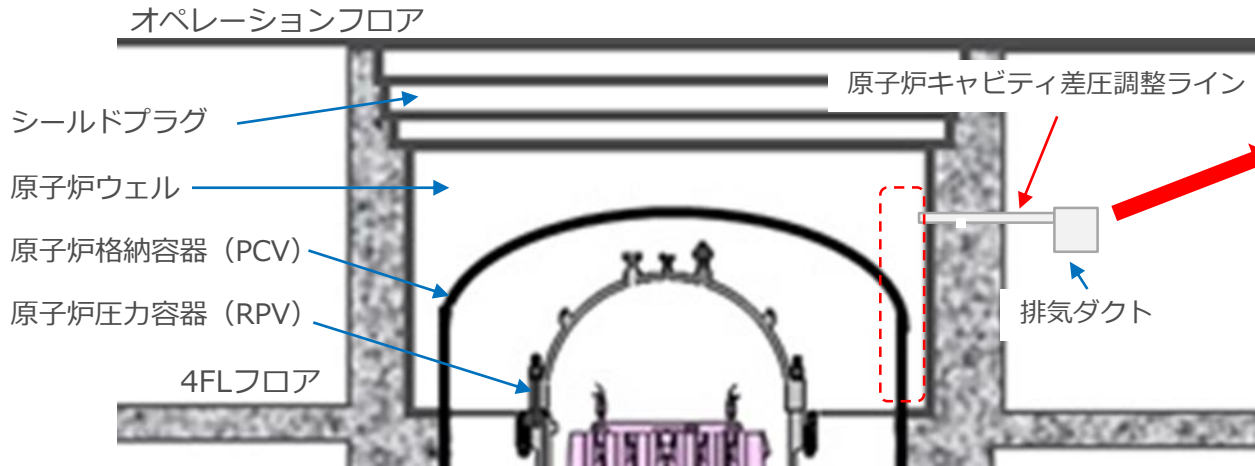
- 2023年8月3日にバルブチェックリストが保管されている可能性がある箇所（1・2号中操コミュニケーションルーム，食堂）のサーベイ調査（予備調査）を実施。
  - 2023年8月3日の予備調査結果
    - ✓ 1・2号中操コミュニケーションルーム，食堂ともに機材や書類が積み重ねられている状況。
    - ✓ 1・2号中操コミュニケーションルーム，食堂ともに線量は4 $\mu$ Sv/h程度と低いものの，食堂においては，表面汚染が10万cpmを超えることを確認。

## <今後の計画>

- 今後の計画は以下の通り。
  - 8/4～8/10 : 作業計画作成
  - 8/14～8/16 : 資機材準備，作業計画に基づく現場確認
  - 8/17～8/18 : 作業前検討会，資機材運搬，その他作業準備
  - 8/21～9/1 : 書類調査作業

# (参考) 2号機原子炉キャビティ差圧調整ライン 設置箇所

特定原子力施設監視・評価検討会（第91回）資料3-4-1より抜粋



原子炉建屋4FLフロア